

令和3年度 沖縄型産業中核人材育成事業

沖縄染織の各産地を牽引する次世代人材育成プログラム

研修生募集について

募集期間：令和3年7月7日（水）～8月5日（木）

ゆいまーる沖縄株式会社

1. 事業の概要

【沖縄染織の各産地を牽引する次世代人材育成プログラム】

沖縄染織生産者の収益性向上を図り、各染織産地を牽引する次世代中核人材を育成する

「沖縄染織の各産地を牽引する次世代人材育成プログラム」は、ゆいまーる沖縄（株）が事業主体となり、沖縄県内の各産地組合、専門家と協力し人材育成カリキュラム開発、研修の実施、効果の検証及び自立化に向けた方策の検討などに取り組む。

全国で最も国の伝統的工芸品の指定数が多い沖縄の染織物産業は、沖縄県の統計調査開始後のピーク時と比較して生産額、従事者数ともに大きく減少している。その原因として、固定化された流通体制によって生産者の収益性が低い事、収入の手段がモノづくりによる製品の販売に限られていること、そして沖縄の染織物生産の特徴として、そのほとんどが手作業のため、生産性も低いという特性がある。このような収益性、生産性が低い状況のため、生産者は自らがモノづくりを続けていく事だけでも精一杯であり、産地全体を牽引し、活性化を図る取組みを行う事が難しい。

また、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大が日本、全世界で脅威を振るっており、沖縄の工芸業界にも大きな影響を与えている、さらに流通現場の大きな変化も起き、生産者が直接エンドユーザーに販売するという流れも加速している。このような激変する環境変化の中で、工芸業界、作り手に求められる変化に対応していくためのプログラムを本事業の企画に盛り込み、作り手の進化を促す。

今回は本事業を活用し、「産地活性化研修」、「マーケティング研修」、「ビジョン・工房運営研修」を実施する。そして、マーケティング思考、経営思考を持ち、多様な収入減と積極的なプロモーションを実践し、収益性・生産性を向上させ、自立できる染織生産者、県内各地に存在する各染織産地や組合を牽引する中核人材を育成する。今回は本事業を活用し、「産地活性化研修」、「マーケティング研修」、「商品開発研修」、「工房運営研修」を実施する。そして、マーケティング志向で新商品を積極的に展開し、収益性・生産性を向上させ、自立できる染織生産者、県内各地に存在する各染織産地や組合を牽引する人材を育成する。

(2) 「目指すべき人材像」と 「必要な知識・技能」について

①組合や産地活性化のための考え方と行動で組合や産地を牽引できる人材

必要な知識・技能	沖縄の染織産地の歴史、組合・産地の情報発信、生産者・産地間での情報交換の仕組み、産地成長のためのロジック、異業種連携
----------	--

②マーケット情報を主体的に収集し、製品作り、販売方法に反映できる人材

必要な知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・着物市場の状況、着物以外の市場情報、流通の仕組み、市場とのコミュニケーション力（マーケティング実践力） ・和装業界のデザイントレンド情報、着物・帯の組合せ、色彩・デザイン、和装業界以外の商品トレンド情報、製品2次加工情報 ・製品以外のサービス開発：ワークショップ、スクール等
----------	--

③数字をベースに計画的に工房や組合運営ができる人材

必要な知識・技能	工房・組合の経営計画作成、製造原価表の作成と価格設定の実践、経営実践力
----------	-------------------------------------

2. 研修内容

(1) 研修プログラムの概要

①研修ジャンルと回数、時間について

研修プログラムは、「産地活性化研修」、「商品開発・マーケティング力強化研修」、「工房運営研修」から構成され、それぞれ以下の回数、時間で研修を実施します。

研修項目	1回あたりの時間×回数	研修時間
(1) 産地活性化研修	6h×1回=6h 4h×1回=4h	10時間
(2) マーケティング研修	8h×3回=24h（県外実地研修） 6h×1回=6h 4h×1回=4h	34時間
(3) ビジョン・工房運営研修	6h×1回=6h 6h×2回=12h	18時間
(4) 成果報告会	8h×1回=8h	8時間
計		70時間

②研修場所

以下の場所での研修を予定していますが、研修内容や会場の予約状況により変更する場合があります。

■沖縄県立博物館・美術館

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1-1（ゆいレール 「おもろまち駅」から徒歩約9分）

■沖縄産業支援センター

那覇市字小禄1831-1（ゆいレール 「小禄駅」から徒歩約15分）

③研修期間

令和3年8月下旬～令和4年2月28日

④研修日と時間

- ・研修日：平日開催
- ・時間：10:00～17:30の時間帯で、1回あたり4～6時間実施します。
(県外実地研修、成果報告会は8時間で計算しています)

主なスケジュール

月	内容
8月	下旬：研修①
9月	中旬：研修②
10月	初旬：研修③、下旬：県外実地研修（京都）
11月	中旬：研修④
12月	初旬：研修⑤、下旬：⑥
1月	中旬：研修⑦
2月	初旬：成果発表会

⑤修了証の交付について

研修終了後、修了要件を充たす方には、内閣府より担当大臣名の修了証が交付されます。
(修了要件は全カリキュラムへの出席の他、研修の習熟度等、実行委員会により規定します。)

(2) 研修内容の詳細

①産地活性化研修

染織生産者の自立に加え、個人単位で活動する生産者をサポート・牽引していくために、沖縄に複数存在する産地や組合全体の活性化は大きな課題となっている。

そこでこの産地活性化研修では、産地や組合を牽引していける人材育成を目的として、沖縄の染織産地が歩んできた歴史、各産地の現状の課題の整理、そしてこれら課題をどう解決していくのかを体系的に学ぶカリキュラムを実施する。

研修項目	沖縄染織業界の現状と課題抽出
研修時間	4時間×1回＝4時間
講師	ゆいまーる沖縄(株) 代表取締役 鈴木修司
主な研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の染織業界、沖縄の染織業界の現状と課題を解説し、研修生の所属する組合や産地、さらに研修生個別の課題を抽出し、今後学び、実践していくポイントを研修生全員で共有する

研修項目	沖縄染織の歴史と課題＋今後の産地活性化に向けた取組み
研修時間	6時間×1回＝6時間
講師	沖縄県立博物館・美術館 学芸員 輿那嶺一子氏 COS KYOTO(株) 代表取締役 北林功氏
主な研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・輿那嶺氏からは、沖縄染織の歴史を広く学び、産地の歩んできた道のりを整理する ・1つ前の研修で明確にした課題から、沖縄染織産地活性化に向けて何をすべきなのか、そしてその活性化に向けた考え方を学ぶ ・北林氏からは、京都における伝統工芸の現状と新たな取り組み事例を学び、それを沖縄に置き換えて何ができるのかを研修生でディスカッションする。 <p>■講師：輿那嶺一子氏 沖縄県立博物館・美術館 学芸員 琉球大学教育学部美術工芸科卒。専攻は染織。沖縄県立博物館の学芸員として長年勤務</p> <p>■COS KYOTO(株) 代表 北林功 デザインウィーク京都の企画、運営や伝統工芸の海外展開等の商品企画やコンサルタントを行っている。 京都の伝統産業の現状や、伝統産業×テクノロジーの融合についての取組みを学ぶ</p>

②マーケティング研修

今後、生産者の自立、産地や組合の活性化に向けた具体的なアクションとして、流通の多角化を柱とするマーケティング力の強化、商品開発力の強化が不可欠となる。その人材育成として、現在の流通構造の課題と流通の多角化に向けた具体的な取組みについて、和装市場のトレンド、和装市場以外の市場や売れている商品動向を把握し、既存市場、新たな市場へのモノの商品開発に加え、今後のポイントとなる体験やスクールビジネス等サービス商品開発のノウハウも学ぶカリキュラムを実施する。

研修項目	県外実地研修（京都府）
研修時間	8時間×3回＝24時間（2泊3日）
講師	山元染工場 山元桂子氏、京ごふく二十八 原巨樹氏、いとへんユニバース 他
主な研修内容	<p>伝統工芸が多く存在する京都で、伝統を守りつつ革新を実践している作り手、新たな着物の流通を実践している企業、染織のサービス事業を実践している工房等を訪問し、産地のイノベーションや活性化を具体的な事例として学ぶ。</p> <p>■山元染工場 山元桂子氏 京都で舞台衣装を主に手がけるメーカーで、手染めの生地を活かした2次加工製品をブランド化している取組を学ぶ</p> <p>■京ごふく二十八 原巨樹氏 京都で新たな和装の流通に取り組んでいるベンチャー企業の社長。これまでの和装市場の流通の仕組みと、問屋を介さず無店舗でエンドユーザーに販売をしている新たな取り組みについて学ぶ</p> <p>■いとへんユニバース 個人の織物職人、拵括り職人、そしてライター等が集まり、活動するチーム。それぞれの強みを活かして商品開発、生産、PRを行うコミュニティーづくりは、個人が中心となっている沖縄でも参考になる取組である</p> <p>■COS KYOTO 代表 北林功（コーディネーター） 京都の生産者とも繋がり深い北林氏に京都研修のコーディネーターになってもらい、より専門的で深い学びとなる研修にする</p>

研修項目	SNS 実践講座
研修時間	6時間×1回＝6時間
講師	宮本企画室 合同会社 宮本順一 氏
主な研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Facebook, Instagram など各 SNS アプリの特徴と使い分け ・PR の全体設計について ・アクセス解析と改善の手順について <p>■宮本企画室 合同会社 宮本順一氏 WEB のディレクション、制作支援、講師等を行っている。今後、工芸生産者へのWEB や SNS 活用に関する勉強会や、WEB 構築のアドバイザー等の連携が期待される。 文化服装学院 非常勤講師・教育課程編成委員、大阪文化服装学院 非常勤講師、ネットショップ能力認定機構 認定講師</p>

研修項目	ワークショップ、スクールビジネス開発講座
研修時間	4時間×1回＝4時間
講師	MAITO DESIGN WORKS 小室真以人氏
主な研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸生産者の収入の多様化の必要性について ・体験、ワークショップ、スクールビジネスの違いと運営方法について ・サービスビジネスの価格設定について <p>■MAITO DESIGN WORKS 小室真以人氏 東京都で草木染め物のMAITO DESIGN WORKSというブランドとショップを運営し、製品のみならず、草木染めのワークショップやスクールビジネスといったサービス事業も運営している。</p>

③ビジョン・工房運営研修

現在、染織業界に限らず工芸業界全般の問題として、工房や組合の計数管理の弱さがある。今後、生産者や組合・産地が活性化してくには、ビジョンを描き、向かうべき方向性を明確にした上で、数字をベースにしたマネジメントが必要不可欠となる。そこでビジョン・工房運営研修では、ビジョンを描き、そのビジョンをベースとした数字での計画づくり、製品の原価計算、価格設定といったカリキュラムで研修を行う。

研修項目	タイプ別工房運営講座
研修時間	6時間×1回＝6時間
講師	・虹亀商店 代表 亀谷明日香氏 ほか
主な研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・糸や染料といった原材料から生産している織物工房の運営事例 ・雑貨を中心に生産している染物工房の運営事例 ・エンドユーザーへの直販とプロモーションについて <p>■虹亀商店 代表 亀谷明日香氏 沖縄県南城市で紅型工房とショップを運営。商品は雑貨が中心となっており、小売店への卸とエンドユーザーへの直販を行っており、SNS、ホームページなど積極的なPR活動も行っている。令和2年度本事業研修生。</p> <p>*もう1名ゲスト講師を予定しています。</p>

研修項目	工房のビジョンを描く
研修時間	6時間×1回＝6時間
講師	京屋染物店 代表取締役 蜂谷悠介

主な研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業界の状況と京屋染物店の取組みについて ・ビジョンとは何か？ ・ビジョン作成のワーク <p>■京屋染物店 代表取締役 蜂谷悠介 大正7年創業、岩手県一関市で主に半纏や浴衣を生産する染物店。業界も厳しく、さらに東日本大震災でも被害を受けたが、4代目社長の蜂谷氏が、理念、ビジョンを掲げ、数字をベースにした新たな運営スタイルを確立する事で売上、利益、雇用も大きく伸ばしている。</p>
--------	---

研修項目	染織の原価計算、価格設定について
研修時間	6時間×1回＝6時間
講師	MAITO DESIGN WORKS 小室真以人氏
主な研修内容	<p>販売価格・卸価格の設定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染織の原価計算について、販売価格、卸価格の設定方法、各研修生の生産している製品で原価計算・価格設定を実践（ワーク形式で実施する） <p>■MAITO DESIGN WORKS 小室真以人氏 東京都で草木染め物のMAITO DESIGN WORKSというブランドとショップを運営し、製品のみならず、草木染めのワークショップやスクールビジネスといったサービス事業も運営している。</p>

④成果報告会

研修項目	成果報告会
研修時間	4時間×2回＝8時間（準備等含む）
講師	ゆいまーる沖縄(株)
主な研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆本事業での研修成果を外部向けに発表する成果発表会を実施する。 ・研修成果の発表：プレゼンテーションの実施 ・時期：2月中旬の1日を予定（設営準備、本番） ・場所：沖縄県立博物館・美術館

3. 費用負担について

(1) 研修費用について

- ・研修費は無料です。
- ・県外実地研修の交通費、宿泊費は本事業で負担します（研修生の負担はありません）。

(2) 交通費について

- ・沖縄本島内の交通費は研修生の負担となります。
- ・離島の研修生は、各離島から那覇空港までの交通費を本事業で負担します。

4. 研修参加者の募集について

(1) 研修参加の要件として有すべき技能水準・経験等（以下の要件すべてを満たす者）

- ・ 沖縄県内にて、染物または織物の生産に3年以上携わっている者
- ・ 沖縄県内にて、染物または織物で立てようとする者
- ・ 研修の全日程に参加できる者

(2) 採用人数

15名程度（本島12名、離島3名程度）

5. 選考について

書類選考を行います。募集人数が採用人数を超過した場合は、個別にヒヤリングや面接を行う場合もあります。

6. 公募説明会

以下の通り公募説明会を実施いたします。

■日時 令和3年7月20日（火）11:00～12:00

- ・ オンライン（zoom）での開催となります。7月18日（日）までにメールで参加申込をお願いいたします。開催日前日（7月19日）に zoom の参加 URL をメールでお知らせいたします。

7. 応募手続

募 集

① 提出書類

- ・ 指定の様式によりエントリーシート(A、B)を作成してください。
- ・ エントリーシート(A、B)は、原本1部、写し7部(カラー)合計8部を提出してください。

*エントリーシートの様式は、下記のホームページからダウンロードして頂くか、ゆいまーる沖縄(株)までお問い合わせください。

ゆいまーる沖縄株式会社

HP: <http://utaki.co.jp/>

②公募期間、提出先

公募期間は次の通りとします。

・公募期間：令和3年7月7日（水）～8月5日（木）

・提出期限：令和3年8月5日（木）

・提出方法：下記提出先へ郵送

*郵送の場合は、封筒に赤字で「中核人材育成事業エントリーシート在中」と記入してください。

エントリーシート提出・問い合わせ・公募説明会申込先

個別相談も受付けておりますので、お気軽にご相談ください。

ゆいまーる沖縄株式会社

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町宮平652

TEL 098-882-6990 (平日10時～18時)

e-mail : info@utaki.co.jp HP : <http://utaki.com/>

担当：照屋、鈴木